

アジア政経学会

平成 19 年度（2007 年度）事業概要報告書

（1）平成 19 年度理事会の開催

①理事会の開催 第 1 回 4 月 7 日、第 2 回 5 月 26 日、第 3 回 7 月 7 日、第 4 回 9 月 1 日、第 5 回 10 月 13 日、第 6 回 12 月 1 日にそれぞれ開催した。

（2）大会、研究会の開催

①東日本大会（5 月 26 日 主催校は学習院大学）

- * 共通論題 1 「アジアのメディアの現状と可能性—市場と国家の間で」（報告者 4 名）
- * 共通論題 2 「近隣諸国から見た中国の台頭：対中政策の変化と方向性」（報告者 4 名）
- * 自由論題分科会 5 つ（報告者計 16 名）

②西日本大会（6 月 2・3 日 主催校は福岡大学）

- * 共通論題「中国とインド：新興経済・大国と現状のゆくえ」（報告者 6 名）
- * 分科会 1 「インド経済」（報告者 4 名）
- * 分科会 2 「東南アジアの労働移動」（報告者 3 名）
- * 自由論題 1（報告者 1 名）
- * 自由論題 2（報告者 2 名）
- * 自由論題 3（報告者 2 名）

③全国大会（10 月 13 日・14 日 主催校は東京女子大学）

- * 共通論題 1 「アジアにおける留学の新段階—アジア諸国の高等教育戦略と留学生政策」（報告者 4 名）
- * 共通論題 2 「中国共産党第 17 回党大会と中国の政治社会」（報告者 3 名）
- * 共通論題 3 「アジア通貨危機を超えて—金融・企業セクターの改革」（報告者 3 名）
- * 共通論題 4 「東アジア民主政治の方向性—韓国・台湾・タイ」（報告者 3 名）
- * 分科会 1 「ASEAN 結成 40 周年—共同体へのトリロジー」（報告者 3 名）
- * 分科会 2 「インドネシアの政治経済」（報告者 3 名）
- * 分科会 3 「盧溝橋 70 周年」（報告者 3 名）
- * 分科会 4 「中国基層の社会経済（国際セッション）」（報告者 3 名）
- * 自由論題 1 「東アジアの政治」（報告者 3 名）
- * 自由論題 2 「日中関係」（報告者 2 名）
- * 自由論題 3 「国家と市場経済」（報告者 3 名）
- * 自由論題 4 「中国の農村と都市」（報告者 3 名）

- *自由論題5「技術と医療厚生」(報告者3名)
- *自由論題6「現代アジア外交史」(報告者2名)
- *自由論題7「ネットワークとアイデンティティ」(報告者2名)
- *第5回アジア政経学会優秀論文賞を保城広至会員に授与した。

■なお、各大会の内容は学会ニュースレターで詳しく紹介されており、学会ホームページ(<http://www.jaas.or.jp>)に掲載されている。

(3) 『アジア研究』刊行

- *『アジア研究』第53巻第2号 平成19年4月刊行。
- *『アジア研究』第53巻第3号 平成19年7月刊行。
- *『アジア研究』第53巻第4号 平成19年10月刊行。
- *『アジア研究』第54巻第1号 平成20年1月刊行。

(4) 国際交流の推進

*全国大会で中国語による分科会「中国基層の社会経済」を開催し、中国から報告者を招聘した。

(5) ニュースレターとホームページの充実

*ニュースレターの充実に努め、研究大会報告の内容をいっそう豊富にした。
*研究大会の自由論題の論文提出が義務つけられたのに伴い、すべての論文を学会のホームページに事前掲載した。また大会終了後も論文要旨はホームページで閲覧可能になっている。

(6) 会員数

*2007年3月末現在、会員数は1320名である。所属先、研究対象国、研究テーマの詳細はホームページに掲載した。

以上。